

スポークスマン

From 中華人民共和国駐大阪総領事館

VOL.3 2021年4月

Spokesman From Consulate-General of The People's Republic of China in Osaka



「私から見る中国」作文コンクール募集

中国共産党創立100周年に際し、中日両国人民の理解・交流促進と中日双方の各界人士の相互信頼・相互学習の増進のため、駐大阪総領事館は「私から見る中国」をテーマとした作文コンクールを開催します。皆様の積極的なご参加を歓迎いたします。

■応募資格

中国滞在経験の有無に関わらず、全ての日本人の方が応募できます。

■応募受付期間

2021年5月31日(月) ※ 必着

■応募方法

①本文

日本語2000字以内(タイトルを含まない) 文体は指定しない

②応募必要事項

お名前、所属、役職、電話番号、メールアドレス、ご住所を必ず本文の後にご記入下さい。

※上記①と②の内容はメールか郵送でお送り下さい。

メールの場合は、件名「(応募者お名前) +

「私から見る中国」作文コンクール応募」で

osaka_consulate@hotmail.com 宛にお送り下さい。

郵送の場合は「〒550-0004 大阪府大阪市西区
鞆本町3-9-2

作文コンクール応募担当宛」にお送り下さい。

■賞・特典

★最優秀賞・総領事賞(1名)

一等賞(1名)

二等賞(2名)

三等賞(3名)

記念賞(数名)

★入選作品は当館ホームページなどに掲載される予定です。参加者全員に記念グッズ・賞状などを贈呈いたします。

★受賞者は当館ホームページにて7月上旬発表の予定です。

★新型コロナウイルス感染症の状況を見て、受賞者はオフライン或いはオンラインの「表彰式・祝賀会」に招待いたします。

■注意事項

①募集要項(文字数、応募受付期間、送付方法など)の厳守をお願いいたします。応募作品は返却いたしません。

②応募作品の点数に制限はありません。ただし入賞については1人につき1作品となり、複数応募された場合は、最も優秀な作品が入賞となります。

③応募作品は自作未発表のものに限ります。盗用・剽窃などが認められた場合、応募作品は失格となります。受賞発表後の場合は、当該作品の受賞を取り消しとさせていただきます。

④受賞作品の著作権と編集権は当館にあることを予めご了承ください。

■お問い合わせ

「私から見る中国」作文コンクール応募 宛

Fax : 06-6445-9476

Mail : osaka_consulate@hotmail.com



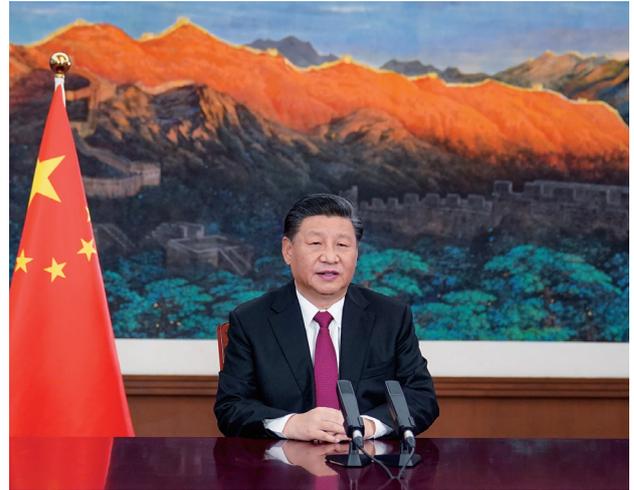
習近平主席が「ダボス・アジェンダ」で演説

習近平国家主席は1月25日夜、世界経済フォーラム（WEF）のオンライン会合「ダボス・アジェンダ」に北京から出席し、「多国間主義の松明で人類の前進の道を照らす」と題する特別演説を行った。

習主席は、「世界各国がマクロ経済政策協調を強化し、世界経済の力強く、持続可能な、バランスのとれた包摂的成長を共に推進し、イデオロギーの偏見を捨て、平和共存・互恵ウィンウィンの道を共に歩み、先進国と発展途上国の発展格差を克服して各国の発展・繁栄を共に推進し、手を携えて世界的な試練に対応して、人類のすばらしい未来を共に築きあげねばならない」と強調した。

挨拶の中で習主席は、「閉鎖・排他ではなく開放・包摂を堅持し、唯我独尊ではなく国際ルールを基礎として堅持し、衝突・対抗ではなく協議・協力を堅持し、現状に甘んじて進歩を求めないのではなく、時代と共に前進することを堅持しなければならない」という4つの主張を述べた。

さらに習主席は、「中国は引き続き国際感染症対



策協力に積極的に参与し、互恵ウィンウィンの開放戦略を実施し、持続可能な発展を促進し、科学技術イノベーションを推進し、新型国際関係の構築を推進し、各国と共に、平和が永続し、普遍的に安全で、繁栄し、開放・包摂的な、クリーンで美しい世界を築いていきたい」と述べた。

中国キーワード・中国共産党創立百周年特別編

その1

中国共産党

1921年7月23日、中国共産党第一次全国代表大会が開かれたが、フランス租界警察の捜索を受けたため、会議は休会を余儀なくされ、嘉興市の南湖に浮かぶ遊覧船の上に場所を変えて挙行され、遊覧船の中で中国共産党の誕生が厳粛に宣言された。この大会で党の初めての綱領と決議が採択されて、正式に中国共産党が誕生した。2019年末時点の中国共産党党員の総数は9191万4000人である。

中国共産党は中国の労働者階級の先鋒隊であり、同時に中国人民と中華民族の先鋒隊でもあり、中国の特色ある社会主義事業の指導の核心で、中国の先進的生産力の発展要求、中



国の先進文化の前進方向、中国で最も広範な人民の根本的利益を代表するものだ。党の最高理想と最終目標は共産主義の実現にある。

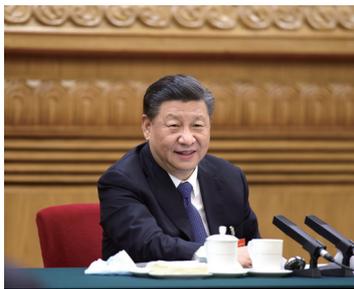
中国共産党はマルクス・レーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論、「3つの代表」重要思想、科学的発展観、習近平の新時代の中国の特色ある社会主義思想を己の行動指南としている。中国共産党の指導は中国の特色ある社会主義の最も本質的な特徴である。



第13期全人代第4回会議が閉幕



第13期全国人民代表大会（全人代）第4回会議は3月5日より11日にかけて北京で開催された。会議は政府活動報告、第14次五カ年計画（2021-25年）及び2035年までの長期目標綱要、全人代常務委員会活動報告を承認した。また、全人代組織法の改正に関する決定、全人代議事規則の改正に関する決定を採択し、習近平国



家主席の署名した第73号、第74号主席令を公布した。香港特別行政区の選挙制度を整備することに関する全人代の決定を採択した。

閉幕後、11日午後4時に総理記者会見を行い、李克強総理が出席し、中国の経済成長初期目標や香港地区選挙制度や対外関係などをめぐり、国内外の記者の質問に答えた。



全国政協第13期第4回会議が閉幕



中国人民政治協商會議第13期全国委員会（全国政協）第4回会議は3月4日より3月10日にかけて北

京で開催された。この会議で、政協第13期全国委員会第4回会議の常務委員会活動報告に関する決議、政協第13期全国委員会第4回会議の政協第13期第3回会議以来の提案活動状況報告に関する決議、政協第13期全国委員会提案委員会の第13期第4回会議の提案審査状況に関する報告、政協第13期全国委員会第4回会議政治決議が採択された。委員らは全国人民代表大会が香港特別行政区の選挙制度を整備する決定を行うことへの一致した賛成と断固たる支持を表明した。

「两会」をさらに解説しよう

一、今年の全国「两会」における多くの「初」

感染症流行の影響を受け、昨年の全国「两会」は二カ月余り開催が延期された。今年は3月の開催に戻されたが、感染症以前よりも会期が短縮された。今まで一般的に3月3日に開幕していた全国政治協商会議は3月4日の開幕となり、これは1998年以降初めてのことだ。

今年の两会はまた、中国が新発展段階に入ってから初めて開かれた全国两会であり、習近平の法治思想が明確に提出されてから初めて開かれた全国两会、さらには貧困脱却攻略戦の勝利後に開かれた初めての全国两会でもあった。

二、開局の年の两会で、どんな重要な成果が生まれたか

・政府活動報告

今年の政府活動報告は昨年の「難関に向き合い、着実な仕事を要とする」という風格が引き継がれた。「市場主体に安心して経営させ、軽装で前進させる」「手を尽くして何億もの農民の収入を増やし、希望を持たせる」「新市民や青年などの住宅難緩和に最大限務める」「仕事における画一的処理を慎み、末端の負担削減を着実に行う」など、どの措置も心温まるものであった。

・第十四次五カ年計画綱要

「中華人民共和国国民経済・社会発展第14次5カ年計画と2035年長期目標綱要」が採決され、主に第十

四次五カ年計画時期の経済社会発展の主要目標と重大任務の数値化・実体化が行われた。「経済発展」指標において、五年のGDP年間成長率の事前目標は設定されず、年平均成長率は「合理的範囲を保持し、各年度の状況をみて目標を設定する」と描写された。こうした表現方法は五カ年計画史上初めてのことだ。

・香港特別行政区の選挙制度整備に関する決定

昨年の全国人民代表大会では、香港特別行政区の国家安全維持の法律制度と執行メカニズム建設・健全化に関する決定が採択された。九カ月余りを経て、「香港特別行政区の選挙制度整備に関する決定」も再び賛成多数で採択され、これにより愛国者を主体とする「香港人による香港統治」が重ねて保障された。昨年制定された香港国家安全維持法と同じように、香港特別行政区の選挙制度整備もまた「決定+法改正」の方法がとられ、段階的に推進・完成されていく。

・人民代表大会制度の二つの基礎的法律が改正

今年、全国人民代表大会ではさらに「全国人民代表大会の『中華人民共和国全国人民代表大会議事規則』の改正に関する決定」が採択された。これはこの二つの法律が施行されてから30年余りで初めての改正となる。今回の改正では、体制・機関改革の変化が十分に反映されただけでなく、全過程で民主の理念もまた十分に体现された。

貧困脱却の見本となった中国

2月25日、習近平国家主席は全国貧困脱却難関攻略総括表彰大会で重要談話を発表し、中国が貧困脱却の難関攻略戦に全面的に勝利し、現行基準下で農村の貧困層9899万人が全て貧困を脱却し、832の貧困県、12万8000の貧困村が全て貧困県・貧困村の指定を解消し、地域的な全体的貧困が解決され、絶対的貧困の根絶という極めて困難な任務を達成したことを厳粛に宣言した。

改革開放以来、中国では農村の貧困層7億7000万人が貧困を脱却した。世界銀行の国際貧困基準では、中国の貧困削減数は同時期の全世界の貧困削減数の70%以上を占める一方、今や中国は国連の



「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の貧困削減目標を10年前倒しで実現している。

また、中国は120余りの発展途上国の国連ミレニアム開発目標の実施を支援した。世界銀行の研究報告によると、「一帯一路」イニシ

アティブの全面的実施によって、関係国の760万人が極端な貧困から脱却し、3200万人が中程度の貧困から脱却する見通しだ。国連のグテーレス事務総長は、中国がアフリカなど発展途上国に対して、協力・ウィンウィン、共同発展という政策をとっていることを称賛し、これを世界の貧困削減事業に対する中国のもう1つの貢献だとしている。



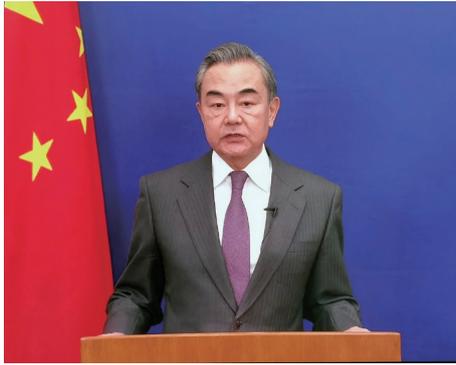
王毅国務委員兼外相が第16回「北京—東京フォーラム」開幕式で挨拶

中国の王毅・国務委員兼外相は昨年11月30日、第16回「北京—東京フォーラム」の開幕式でビデオ挨拶を行った。

王外相は「新型コロナウイルスによって世界各国が人類は運命が繋がった共同体であると深く感じ、また中日両国人民の伝統的友好が改めて示された。民間友好は常に中日関係発展の重要な礎石であるが、

現在両国民の感情にギャップが見られ、我々は重視し、深く考える必要がある」と述べた。

また、王外相は「情報化、インテリジェント化の新時代において、大衆ソーシャルメディアは両国民が知り合い、感情面で互いに働きかけるという重要な役割を果たし、また特別な責任を担っている。両国メディアに対し、1. 真実を追求する。相手国を



報道する際は実際の状況を完全に示す。2. 善意を伝える。両国の社会制度と理念の違い、差異を越えて、より包摂・友好親善の態度で、両国人民のより良い相互理解を促し、より一層互いに知るよう図る。3. 未来を共に築く。両国メディアは高所に立って将来を展望し、未来を見

据え、中日協力のプラスのエネルギーを結集し、アジアと世界の発展の新たなビジョンを示すことを希望する」と強調した。

フォーラムは2005年に創設され、毎年1回、北京と東京で交互に開かれている。両国間のハイレベルで規模が大きい官民の双方向交流プラットフォームで、今回のテーマは「コロナ後の国際秩序と中日両国の役割」。

王毅外交部長、中日関係を語る「不動心を保ち、成熟と安定へ」

王毅・国務委員兼外相は3月7日に北京における第13期全国人民代表大会第4回会議の記者会見で、共同通信の記者からの質問に対し次のように述べた。

近年、中日両国の指導者は「互いに協力パートナーとなり、互いに脅威とならない」という重要な共通認識に達した。両国国民は感染症対策協力の中で「山川異域、風月同天（山河は異なるうとも風や月は同じ天の下にある）」という美談を生み出した。両国の貿易投資協力は感染症の影響を克服し、逆境を乗り越えて成長を遂げている。これらの前向きな進展や、中日関係の改善と発展は、両国人民の利益に合致し、地域の平和と安定にプラスとなり、得難く大切にすべきものであることを改めて証明したと言える。

成熟し安定した中日関係を構築するために、不動心を保つ必要があり、一時、一事に影響されないことが求められる。例えば、先ほど言及された中国の実施した「海警法」は正常の国内の立法措置であり、特定国を対象にするものではなく、国際法と国際慣行に完全に合致している。実際のところ、日本を含め多くの国がすでにこのような法律を制定してい

る。友好協議を通じて海上の紛争を解決し、武力または武力による威嚇に訴えないことは中国政府の一貫した立場であり、中国と周辺諸国の長期にわたる共通認識でもある。



中日間のあらゆる問題について、双方が対話とコミュニケーションを通じて理解を深めることで、相互信頼を築くことができる。日本社会が客観かつ理性的な対中認識を形成し、長期にわたる安定した中日関係の構築に役立つ民意の基礎を固めるよう希望する。

中日両国は前後して五輪を開催する予定となっている。双方は互いに助け合い、共に大会を盛り上げ、この二つの五輪が両国国民の友好を深める舞台、そして中日関係の発展を促進するチャンスになるようにしてほしい。今年の夏は東京に注目し、来年は北京でお会いできることを祈っている。

東日本大震災十周年にあたり駐日中国大使館報道官が談話を発表

十年前の本日、日本は特大規模の地震と津波に見舞われ、甚大な人的被害および経済的損失を蒙りました。我々は日本政府および国民に心よりお見舞いを申し上げ、亡くなられた方々に深く哀悼の意を捧げ、被災地の復旧と復興に取り組んでおられる各界の方々に崇高なる敬意を払います。

東日本大震災後、中国の指導者が遭難者の弔問のため在中国日本大使館を訪れ、また、被災地の方々に慰問するため、宮城、福島県などを訪問しました。中国政府および国民は被災地へ義援金や救援物資を寄付し、中国国際救援隊は日本の方々と共に震災救助の第一線で奮闘し、在日華僑華人も震災救助および被災地の復旧復興に積極的に身を投じました。中国側が震災被害の大きい地域で自国民の緊急救助を実施する時には、日本各界の方々から多大なご協力をいただきました。

同時に、2008年、四川汶川大地震が発生した後、日本政府および国民が中国側にくださった貴重な支援を我々は忘れておりません。突如襲ってきた新型コロナウイルス感染を前に、中日両国の国民は相互支援をし、感染症との共闘の中で再び「山川異域 風月同天」という感動的な美談をつくりあげました。大きな災難を前に、中日双方は常に助け合い、両国民の友情は試練を経るたびに検証され、より深まっています。これこそ中日関係を絶えず前進させてきた貴重な宝物です。

日本政府および各界の共同努力のもと、被災地の復旧復興が一日も早く実現されることを心より期待し、またそれを信じています。中国側は日本側と各分野の交流と協力をより一層進化させ、リスクと試練とともに立ち向かい、手を携えて、両国関係のよりよい未来を切り開いていく所存です。

総領事館ニュース

張玉萍代理総領事が『人民日報海外版』日本月刊・『日本新華僑報』の共同取材に応じる

1月15日、張玉萍代理総領事は『人民日報海外版』日本月刊と『日本新華僑報』の共同オンライン取材に応じ、駐大阪総領事館の感染症対策、中日地方友好交流の促進、領事館管轄区内の華僑・華人たちの健康と安全の維持、青少年交流の推進などにおける領事館の活動について主に紹介しました。

張玉萍代理総領事はその取材において、感染症に

より中日間のすでに手配済みであった活動や双方の人員往来、経済協力やその他分野での交流に影響が出たものの、中日関係は依然として改善し、発展の勢いを維持しており、新たな一年も駐大阪総領事館は従来通り、中日の地方友好交流と実務協力を推進し、全力で海外華人・華僑らの身体の健康と生命の安全を守っていくと語りました。



心を合わせて感染症対策、オンラインで春を送る—— 駐大阪総領事館が管轄区域内の華人に「春節パック」を発送

感染症の流行という特殊な状況のもとで、党と国家の海外公民に対するいたわりを伝え、管轄区域内の華人たちの感染症対策を助け、中華民族の伝統的祝日を共に迎えるため、2月1日、駐大阪総領事館は「春節パック」オンライン発送式を挙行し、張玉萍代理総領事、劉磊副総領事が出席し、管轄区域内の主な華僑団体や留学生学友会代表が参加しました。

張代理総領事は心をこめた挨拶と春節のお祝いを述べ、過去一年の共にコロナと戦ってきた忘れ難い経験を回顧し、油断することなく感染予防につとめ、無事に安らかな春節を迎えようと呼びかけました。



領事館が心を込めて準備した「春節パック」は、マスクなどのコロナ防護用品だけでなく、春聯や福の字、伝統的な中華菓子などの年越用品もあり、さらには領事館全館員とその家族の心を込めた祝福や動画プログラムなど盛りだくさんの内容のものでした。

張玉萍代理総領事が「大阪日日新聞」「日本海新聞」などに寄稿



2月13日、張玉萍代理総領事は「大阪日日新聞」「日本海新聞」および「中日新報」「日本財経週刊」「関西華文時報」「DCNB ネットテレビ(龍之昇中文台)」「新華導報」などの関西地区主要中国語メディアに寄稿しました。寄稿文章は「新疆でいったい何が起きたのか」と題し、ウイグル族の少女ディリカマルの物語を語り、新疆における反テロ、反極端主義と経済社会発展の成果を紹介しました。また、皆様に新疆へ行って、そこで何が起きたのかを確かめていただきたいと思いますと述べました。

「小さな贈り物が描く中国、オンラインで世界の美を味わう」 駐大阪総領事館で2021年国際女性デーオンラインレセプションを開催

3月8日、駐大阪総領事館は2021年国際女性デーオンラインレセプションを開催し、張玉萍代理総領事、劉磊副総領事が出席して挨拶をしました。

当館は事前にレセプション参加者に対して、新疆の特産品、中国の切り紙、敦煌のクリエイティブグッズなどの入った国際女性デーギフトセットを送りました。レセプションでは、当館女性館員たちがギフトセットの中の新疆のコースターやお菓子を使って新疆の現在の様子について

を紹介をしたり、切り紙工芸のデモンストレーションを行ったりして、甘粛省敦煌と「一带一路」の物語を紹介しました。また、春節に帰省する母親の写真を用いて、中国の貧困脱却という難関攻略について語り、新時代の女性の生き方について議論しました。



下記 QR コードのスクリーンでレセプション開幕動画と領事館女性館員によるダンスをご覧ください。



オンラインで総領事館の2021年春節を覗く

2月11日は中国の旧暦の正月である春節で、総領事館は公式ツイッター、Facebook、YouTubeなどのSNSメディアで春節を祝う一連のオンラインイベントを行いました。あなたはご覧になりましたか？

1. 2020年を送り2021年を迎えるため、総領事館は特別に『わたしがここにいる理由』と題する動画を製作しました。毎日1つずつ、計9つの駐大阪総領事館の物語をみなさんにお伝えするものです。下記QRコードをスキャンすると観ることができます。



2. 総領事館と上海miHoYoネットワーク科技股份有限公司が手を結び、人気ゲーム『原神』の春節をテーマとする三枚の年賀カードを製作し、時期限定でコンビニの機器にコードを入力すれば印刷ができるようにしました。さらに元宵節にはゲーム『碧藍航戦(アズールレーン)』オリジナル油絵の抽選活動も行われました。次回は見逃さないようにね！

3. 春節前夜、総領事館は神戸市立立王子動物園と和歌山アドベンチャーワールドにいるパンダたちに春節のプレゼントをしました。動物園のパンダ館内はきれいに春節の飾り付けがされ、神戸にいるパンダ「タンタン」に贈った好物の果物は、すっかり食べ尽くされました。このめでたい赤い飾りで、コロナ禍真っ只中の日本の友人たちが喜びや励ましを感じていただけたらと願っています。



神戸市立王子動物園パンダ館と「タンタン」



アドベンチャーワールド プリーディングセンター



只中の日本の友人たちが喜びや励ましを感じていただけたらと願っています。

おすすめ

ドキュメンタリー「習近平主席が率いた貧困との闘いの足跡」

8年間で1億人近くの人口を貧困から脱却させる。これは中国習近平主席が果敢に挑戦し、実行した約束でした。勝利を収めた背景にある大きな勇気と苦勞を13分のドキュメンタリーで見ることができます。下記QRコードのスキャンでご覧ください。



紙派？ 電子派？ —— 皆様の声にお応えします

皆様の声にお応えし、「スポーツスマンFrom中華人民共和国駐大阪総領事館」電子版も見られるようになりました。電子版は図のように当館ホームページ (<http://osaka.china-consulate.org/jpn/>) にて簡単に見られます。去年の創刊以来今期で3期となりましたが、今後とも皆様のご意見やご要望をお聞かせください。



中華人民共和国駐大阪総領事館
〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町3-9-2
連絡先: 06-6445-9481 (代表)

総領事館ホームページ



公式ツイッター



制作協力: 人民中国雑誌社